

## 令和5年度 道立病院運営向上実践表彰について（概要）

### 表彰する取組

- ・最優秀賞 子ども総合医療・療育センター  
心臓手術後から退院までの継続的な心大血管疾患リハビリテーションの提供に向けた取組

### ～取組の趣旨・概要～

心臓疾患を抱える小児患者のリハビリテーションは、その後の生活の質や回復の速さに大きな影響を与え、現行の診療報酬制度でも、その必要性は認識されており、リハビリオーダーシステムはじめ、定量的な評価、およびリハビリの実施、退院指導までの流れについて整備した。

この結果、当センターにおいて心臓リハビリテーションのより良い提供が可能となり、令和6年度からのDPC病院における診療報酬の収益拡大につながる事が期待される。



・優秀賞 羽幌病院

「HABOROプロジェクト」による病院活性化プロジェクト

～取組の趣旨・概要～

職種によらない職員を中心としたチームを組織し、将来の羽幌病院のあるべき姿や新規取組の企画を立案するためのプロジェクトを構成した。

全職員を対象としたワークショップを開催し、多くの意見の中からより実現可能な企画を抽出し実現に向けた活動を開始した。役職や職種にとらわれないメンバー構成にしたことにより、職員のモチベーションアップや院内の課題発見意識の向上など職員の意識改革の一助となった。



・優良賞 緑ヶ丘病院

CVPPP（包括的暴力防止プログラム）を活用した勤務改善への取組



～取組の趣旨・概要～

CVPPP（包括的暴力防止プログラム）委員会を設置し、精神科医療領域の現場における当事者中心に考えケアするという理念を持つプログラムを実施している。

院内のCVPPPの普及活動、CVPPP研修、認定トレーナー養成研修、身体介入技術セミナーなどの実践により、CVPPPの取組が職員全体に認知され、各部門、多職種を通じた院内全体の連携強化に繋がった。

・特別賞 羽幌病院

幅広い広報媒体を利用した病院広報

～取組の趣旨・概要～

羽幌病院へ通院する幅広い年齢層に広報を行うためには単一の広報媒体では周知が難しいと考え、年齢層に応じて利用する広報媒体と内容を変え広報を行った。

若手職員中心にメンバーを構成し、ターゲット層に近い職員を媒体ごとの担当者として任命することで、若手職員の広報活動の参加により、職員のモチベーションアップにつながった。また、防災アプリを町の健康支援課と連携し、即時対応を可能としたことで、外来受診に関する電話問合せが減少し、負担軽減につながった。

～～各表彰者を讃え、表彰状と目録が授与されました～～